



「マリン・ハウス」通信

令和5年 8月号



海で遊びました!!



台風が逃れ、猛暑日から解放された8月15日、マリン・ハウスでは白里海岸まで海水浴に出掛けました。歩いていける距離に海岸があるのは、リゾート地に建つマリン・ハウスだからこそのです。海岸に向かう道中では、皆さんで海にちなんだ唄を歌いながらウキウキとした気分で向かいました。この時期の浜辺は陽気な音楽が流れる海の家が立ち並び、普段見慣れた静かな様子との違いに皆さんびっくりすると共に、その雰囲気を楽しまれていました。現地では車椅子や身体の不自由な方にも快適に過ごせるようにブルーシートで拠点を作り、まずはスイカや飲み物で遊ぶ前の水分補給。その後は波打ち際で海水浴の始まりです。素足で波と戯れてすっかりと童心に帰ったようで、「気持ち良い〜」と皆さん笑顔で夏の海を満喫されていました。利用者様のとびっきりの笑顔を見ることができて、職員も大満足の海水浴となりました。



余談ではありますが、白里海岸では千葉県誕生150周年と大網白里市の市制施行10周年の記念事業として、夜には青色の光で海岸がライトアップされ、昼間とは違う幻想的な風景を見せていました。

たま工房でも、真夏の青空の下、リフレッシュを兼ねて海遊びに出かけました。海では、スイカに見立てた風船を叩くスイカ割りや、波打ち際を裸足で歩くなど、毎日日中活動を頑張っているみなさんと楽しく過ごすことができました。また、真っ赤で甘いスイカを沢山召し上がっていただき、夏を満喫しましたとおっしゃっていただきました。



スイカ割り大会、開催!!



晩夏を迎えた8月14日、とようみ工房では夏の風物詩、スイカ割り大会を催しました。普段は作業で忙しくしている皆さんも、この時ばかりは一休み。目隠しをしてクルクルと回り、各々のスタイルでスイカに挑みます。白い砂と澄んだ青空、降り注ぐ太陽の光に輝く海。自然が織りなすグラデーションに皆のはじける笑顔。そして緑と黒の縦縞からのぞく、真っ赤なご馳走の美味しそうなこと…。暑さ対策の為、食すのは工房で。一口、二口と頬張れば、夏の味が口いっぱい広がります。休憩の後はさぁ仕事！作業に戻ればその顔は真剣そのもの。



しかし、時折見せる表情からは、新たな夏の思い出の1ページが刻まれた満足感が漂っていました。



介護技術について、学びを深めました



フレンス東金では、先月の研修会で学んだ介護技術の振り返りとして、車いすの使い方や移乗など、職員が介護者と要介護者のそれぞれの立場になって実践をしてみました。

実際に車いすに乗ってみると想像以上に視線が低くなり、歩く以上にスピードが速く感じ、



介護を受ける方が「こんなに恐怖や不安を感じているんだなあ」ということに気が付きました。今回の体験を通して利用者様に安心していただけるよう、介護時は、ゆっくり丁寧に対応することを心がけ今後の支援に役立てて行きたいと思います。

美味しいミニトマトがとれました



以前紹介したフレンス東金の菜園では、現在夏野菜の収穫が最盛期！先月色づき始めたミニトマトが、取り切れないほどたくさんの量が収穫できました。収穫したトマトは、事業所での食事に彩りを添えてくれています。



★★HAPPY BIRTHDAY!!★★

今月誕生日を迎えた皆様
素敵な一年をお過ごし下さい!!



【お問い合わせ先】

自立支援センター マリン・ハウス
千葉県大網白里市南今泉 4832-7

TEL : 0475-77-1066

FAX : 0475-77-1067

MAIL: marinehouse@purple.plala.or.jp

随時見学体験相談受け付け中!!

<http://marinehousechiba.wix.com/home>